

組合・消防本部沿革

(設立)

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日の里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災（死者2人、重軽傷者9人）が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。



◀ ガス爆発があった日の里公団
(昭和48年)



▶ 完成した消防庁舎
(昭和49年)

(過程)

- | | | |
|--------|--------|---|
| 昭和49年 | 4月1日 | 初代組合長 由良半三郎氏就任 |
| (1974) | 6月1日 | 消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決
初代消防長 宗實就任 |
| | 7月13日 | 日本消防協会から広報車が寄贈される |
| | 7月31日 | 宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福岡分署建設用地の購入決定 |
| | 9月1日 | 消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良
普及事務所跡地に開設 |
| | 10月1日 | 消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始 |
| | 10月1日 | 消防吏員40名採用(内38名が福岡県消防学校初任教育に入校) |
| | 10月25日 | 大島分遣所建設用地の確保決定
(大島村と借地契約を締結:無償期間2025年3月31日まで) |
| | 10月15日 | 消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工 |
| 昭和50年 | 3月17日 | 日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される |
| (1975) | 3月20日 | 福岡県消防学校初任教育(38名)を修了し、実務に就いた |

	3月31日	消防庁舎（3署所）建築工事が完成
	4月1日	消防庁舎（3署所）の開庁式及び消防業務が全面開始
	4月1日	消防吏員11名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10月1日	宗像町サイレン遠隔操作開始
	10月16日	救助工作隊結成
昭和51年 (1976)	2月18日	屈指はしご付消防ポンプ自動車購入
	4月1日	消防吏員8名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6月16日	二代目組合長 天野敏樹氏就任
	7月31日	救助工作車購入
	10月1日	消防吏員1名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11月15日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	11月22日	日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される
	12月7日	本部敷地内に車庫1棟を建設
昭和52年 (1977)	3月1日	広報紙「消防宗像」創刊号を発行
	3月31日	救急無線取付工事完了
	6月6日	人員搬送車を購入
	6月13日	大島分遣所電動シャッター取付工事完了
	10月1日	消防吏員4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10月29日	化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
昭和53年 (1978)	3月24日	(有) 蔣田モータースから査察車が寄贈される
昭和54年 (1979)	1月20日	本署用地所有権移転登録完了
	10月1日	消防吏員3名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10月25日	大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成
	11月1日	本署消防訓練塔着工
	12月11日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される
	12月20日	本署少量危険物屋内貯蔵所完成
昭和55年 (1980)	1月22日	本署仮設車庫完成
	2月7日	宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される
	3月13日	本署消防訓練塔完成
	8月10日	本署自家発電設備設置
	8月31日	本署通信指令室増改築
	12月1日	高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施（宗像市日の里）
昭和56年 (1981)	4月1日	消防本部名称変更（宗像郡消防本部から宗像地区消防本部）
	4月1日	消防吏員5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6月30日	本署、タイプ室及び給湯室増改築
	10月25日	玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備
	11月15日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈、本署に配備
昭和57年 (1982)	2月15日	二代目消防長 山内伸夫就任
	3月30日	福岡分署敷地拡張用地（301㎡）購入
	6月1日	無線制ぎょサイレン（宗像、福岡、津屋崎、玄海）設置
	6月21日	福岡分署車庫シャッター取付工事完了
	8月10日	福岡分署敷地拡張工事竣工
	8月20日	消防無線空中線改修
昭和58年 (1983)	9月30日	福岡分署訓練塔（鉄骨造）完成
	11月1日	本署訓練塔（鉄骨ALC）完成
	11月4日	事務連絡車購入、本部に配備
	12月27日	本署屋内訓練場改修

	12月27日	本署倉庫兼書庫（鉄骨プレハブ造）完成
昭和59年	4月 1日	消防吏員 4 名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1984)	5月31日	査察車購入、本部に配備
	10月 9日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
	11月20日	消防ポンプ自動車を購入、福岡分署に配備
昭和60年	3月 4日	乗用車購入、本部に配備
(1985)	4月 1日	三代目消防長 坂本守正就任
	5月 2日	指揮車購入、福岡分署に配備
	10月12日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
	10月12日	救助工作車購入、本署に配備
	10月22日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車が寄贈され、福岡分署に配備
昭和61年	4月 1日	消防吏員 2 名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1986)	5月 7日	調査車購入、本署に配備
	5月14日	広報車購入、本部に配備
	5月24日	人員搬送車購入、本署に配備
	6月16日	福岡分署改築工事竣工
	9月 3日	消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	9月10日	資機材運搬車購入、本署に配備
昭和62年	8月18日	本部（署）庁舎増改築工事着工
(1987)		
昭和63年	3月15日	本部（署）庁舎増改築工事竣工
(1988)		
	5月26日	福岡県総合防災訓練実施（玄海町鐘崎）
	6月 2日	三代目組合長 的場重郎氏就任
	9月 1日	本署通信指令室の移転工事着工
平成元年	2月 1日	本署通信指令室の改築工事完了
(1989)	2月 1日	消防緊急情報システム運用開始
	3月17日	救急自動車購入、赤間出張所に配備
	4月 1日	消防吏員 7 名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6月 1日	赤間出張所建設工事着工
	9月27日	（社）日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
	9月30日	赤間出張所建設工事完了
	10月 9日	赤間出張所実働開始
平成2年	4月 1日	消防吏員 8 名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
(1990)	5月17日	（社）日本損害保険協会から救急自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
	7月20日	神湊出張所建設工事着工
	11月20日	水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
	12月20日	神湊出張所建設工事完了
	12月26日	神湊出張所実働開始
平成3年	3月27日	玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車が寄贈される
(1991)	4月 1日	消防吏員 3 名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月30日	福岡分署仮眠室ベット改修工事完了
平成3年	7月25日	大島分遣所軽量シャッター取付工事完了
(1991)	10月30日	訓練塔（主塔）改修工事完了
平成4年	3月 5日	水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備
(1992)	3月31日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却（81.82㎡）
	4月 1日	消防吏員10名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8月15日	大島分遣所内装工事完了

	10月12日	四代目組合長 瀧口凡夫氏就任	
	11月27日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却 (45.05㎡)	
平成5年 (1993)	4月 1日	消防吏員 5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	4月 1日	財務会計処理のためのコンピューター導入	
	7月10日	福岡分署シャッター取替工事完了	
平成6年 (1994)	10月 4日	40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入	
	2月28日	日本自動車工業会から高規格救急自動車 (ニッサンパラメディック) が寄贈される	
	3月17日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る	
	4月 1日	四代目消防長 多賀富男就任	
	4月 1日	消防吏員 7名採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	4月19日	消防組合設立20周年記念式典開催 広報用ビデオ「出動!!ファイヤーファイター」制作 20周年記念誌「消防宗像 (20年の歩み)」作成	
	7月29日	指令車 (スバルレガシー・ワゴン) 購入、本署に配備	
	9月 6日	福岡無線中継局更新	
	11月11日	救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置	
	平成7年 (1995)	2月17日	阪神淡路大震災による被災地 (神戸市) 支援部隊派遣
4月 1日		消防吏員 5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
4月24日		乗用車 (トヨタ・クラウン) 購入、本部に配備	
5月27日		消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功勞として感謝状が贈られた	
6月30日		緊急消防援助隊発足 (救急隊を登録)	
9月18日		赤間出張所増築工事完了	
10月18日		福岡分署内装補修工事完了	
11月 1日		赤間出張所 8名増員、1箇分隊増強	
11月 1日		防災パンフレット「わが家の防災ガイド」を60,000部作成し、管内全世帯に配布した	
12月16日		消防ポンプ自動車 (モリタMX1) 購入、赤間出張所に配備	
平成8年 (1996)	12月28日	救急伝送システムを宗像医師会病院に設置 (管内2ヵ所目)	
	4月 1日	消防吏員 4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	5月29日	大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアータント購入	
	9月12日	事務連絡車 (トヨタカローラ・ワゴン) 購入、本部に配備	
	10月 7日	大島村住民向けに、ネットワークサービス (オフトークシステム) 運用開始	
	10月28日	宗像消防署訓練塔改修工事	
	11月 5日	救急伝送システムを蜂須賀病院に設置 (管内3ヵ所目)	
	11月27日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備	
	平成9年 (1997)	4月 1日	消防吏員 4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
		7月 1日	調査車 (トヨタハイエース) 購入、本部に配備
7月 7日		査察車 (マツダカペラ・ワゴン) 購入、本部に配備	
8月28日		福岡県知事から、消防防災功勞団体として、消防本部に感謝状が贈られた	
11月 4日		化学消防ポンプ自動車 (日野FD1JGB10643) 購入、本署に配備	
平成10年 (1998)	11月21日	高規格救急自動車 (トヨタハイメディック災害対応型) 購入、福岡分署に配備	
	1月27日	宗像消防署・福岡分署・大島分遣所改修工事完了	
	3月 7日	消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られた	
	4月 1日	宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から宗像地区消防組合に移管された	
	11月25日	消防ポンプ自動車 (モリタMX1) 購入、本署に配備	
	12月21日	高規格救急自動車 (ニッサンパラメディック災害対応型) 購入、赤間出張所に配備	
平成11年 (1999)	3月31日	財務会計システムを更新	
	11月15日	高規格救急自動車 (トヨタハイメディック災害対応型) 購入、神湊出張所に配備	

	11月18日	指揮車（ニッサンセレナ）購入、本署に配備
	11月26日	福岡分署倉庫新築
平成12年 (2000)	4月1日	五代目消防長 吉武秋生就任
	4月17日	消防車救急先行システム開始
	6月8日	五代目組合長 池浦順文氏就任
	8月29日	救助工作車（日野KK-GD1JGDF）購入、本署に配備
	10月17日	広報車（トヨタカルディナ）購入、福岡分署に配備
平成13年 (2001)	4月1日	消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11月1日	玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、本署に配備
平成14年 (2002)	1月29日	消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
	2月1日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック災害対応型）購入、本署に配備
	2月15日	神湊出張所倉庫増築工事完了
	4月1日	消防吏員3名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12月19日	水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備
平成15年 (2003)	4月1日	旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生
	4月8日	消防吏員5名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月25日	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了
	8月4日	赤間出張所屋根防水工事完了
	8月4日	神湊出張所外壁塗装工事完了
	8月29日	資機材搬送車購入、本署に配備
	10月1日	六代目消防長 木村幸雄就任
平成16年 (2004)	4月7日	消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月10日	本部（署）庁舎増改築工事着工
平成17年 (2005)	1月24日	旧福岡町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生
	1月24日	六代目組合長 原田慎太郎氏就任
	1月31日	本部（署）庁舎増改築工事完了
	3月28日	旧大島村が宗像市へ編入合併
	3月28日	七代目組合長 池浦順文氏就任
	3月31日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、福岡分署に配備
	4月1日	緊急消防援助隊に消火部隊を登録
	4月1日	消防吏員7名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12月17日	本部（署）庁舎改築第2期工事着工
	12月19日	災害対応特殊高規格救急自動車（ニッサンパラメディック災害対応型）、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備
平成18年 (2006)	3月7日	高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始
	4月1日	交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	4月1日	消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月28日	福岡県総合防災訓練実施（福津市西福岡）
	12月21日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
平成19年 (2007)	1月1日	消防本部に救急課を設置
	3月31日	宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散
※ 平成19年4月1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。		
平成19年 (2007)	4月1日	旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足
	4月1日	初代組合長 池浦順文氏就任
	4月1日	消防吏員4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	9月1日	I P・携帯電話発信地表示システム運用開始

歴代組合長・副組合長

題名	歴代	氏名	在任期間	備考
組合長	初代	由良半三郎	S49.4～S51.5	宗像町長
	二代	天野敏樹	S51.6～S63.5	宗像市長
	三代	的場重郎	S63.6～H4.9	福岡町長
	四代	瀧口凡夫	H4.10～H12.5	宗像市長
	五代	池浦順文	H12.6～H17.1	福岡町長
	六代	原田慎太郎	H17.1～H17.3	宗像市長
	七代	池浦順文	H17.3～H19.3	福津市長
副組合長	初代	井原元彦	S49.4～S51.9	福岡町長
	二代	的場重郎	S51.10～S63.5	福岡町長
	三代	瀧口凡夫	S63.～H4.6	宗像市長
	四代	和田延広	H4.6～H11.4	玄海町長
	五代	池浦順文	H11.5～H12.5	福岡町長
	六代	原田慎太郎	H12.6～H17.1	宗像市長
	七代	河辺健治	H17.1～H17.3	大島村長
	八代	原田慎太郎	H17.3～H19.3	宗像市長

- 11月1日 財務会計システムを更新
- 平成20年 3月31日 訓練塔補修工事（屋外階段設置等）完了
- (2008) 4月1日 消防吏員6名採用、内4名が福岡県消防学校初任教育に入校
- 6月16日 消防本部庁舎空調機器改修工事完了
- 10月1日 消防吏員1名採用、3名が福岡県消防学校初任教育に入校
- 10月31日 人事情報システム導入
- 平成21年 1月23日 福岡無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
- (2009) 2月24日 消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施（フィールドテスト）
- 3月6日 二代目組合長 谷井博美氏就任
- 4月1日 七代目消防長 乙藤富雄就任
- 4月1日 消防吏員3名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
- 7月21日 庁舎耐震診断実施（本署・福岡分署）
- 12月10日 高規格救急自動車（トヨタハイメディック災害対応型）購入、本署に配備
- 平成22年 2月1日 事務局移転（宗像市多禮298番地）
- (2010) 4月1日 宗像地区事務組合水道事業統合
- 4月1日 消防吏員4名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
- 5月21日 三代目組合長 小山達生氏就任
- 9月29日 大島分遣所外部改修工事完了
- 10月1日 119番緊急通報に係る位置情報通知システム（統合型）運用開始
- 10月1日 消防吏員2名採用、福岡県消防学校初任教育に入校
- 平成23年 2月25日 水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
- (2011) 3月14日 東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ消火隊及び救急隊各1隊（7名）出動
- 3月15日 庁舎耐震補強・改修工事完了（本署・分署）
- 4月1日 八代目消防長 門脇 豊就任
- 4月1日 消防吏員6名採用、内3名が福岡県消防学校初任教育に入校